



開田小学校だより



令和6年 5月31日(金) 文責：草間隆志

学校HPも
のぞいてください

子馬ちゃんの命名

フムフム
ぼくの名前は「春走」か
いい名前だな



子馬ちゃん命名委員会の児童が
はりきって式の進行をしました。



「春走」と書かれた命名書を見つめ、ご満悦
の春走。

よかったな
名前が決まったぞ



プレゼントされた餌箱で
親子仲良く青草の食事。

3月末、木曾馬の杏菜ちゃんに待望の赤ちゃんが生まれ、開田小学校の子どもたちに命名が託されました。早速、児童有志による「子馬ちゃん命名委員会」が立ち上げられ、二度に渡る全校アンケートが行われました。その結果、子馬の名前は「春走(しゅんそう)」に決まりました。

5月16日(木)には、子馬ちゃん命名委員会企画の命名式が行われました。子どもたちから飼い主の伊藤さんに、命名書のほかメッセージボードや手作りの餌箱(昨年度の開田科学習で現5年生が制作)等が贈られました。



色紙を貼り合わせて木曾馬をかたどったメッセージ
ボード。子どもたちの思いが込められています。

生まれてきてくれてありがとう。元気にすくすく育ってね。(6年男子)

名前のお通り、たくさん走ってください。そして、元気に育ってください。(6年男子)

おめでとう。よくたべて、おおきくなってね。(1年女子)

杏菜ちゃん、赤ちゃんできてよかったな。子馬ちゃん、元気に育って早く一緒に遊ぼうな!(4年男子)

おめでとう!おげんきですね。げんきにそだってうれしいです。(2年女子)

全校で声を合わせて、「春走く〜ん」と声をかけると、春走は子どもたちの方に顔を動かし、じっと見つめました。子どもたちは、「あっ、こっち向いた!すごい、すごい。」と大喜びでした。伊藤さんは、「馬も宝だが、開田小の子どもたちも開田の宝。これから、木曾馬とみんなで開田をますますいいところにしてほしいです。」とお話されました。

「みちくさの時間」スタート

みちくさの時間は・・・

ふるさとでの原体験を重ねる時間を、子どもたちに委ねる時間です。子どもの自立や成長のためには、親や教師の管理下でない時間も必要です。子どもが自己決定しながら、みちくさの時間を自由に存分に楽しんでほしいと願い、昨年度よりスタートしました。

毎週木曜日 15:25～16:10

※開田小応援団の皆さんもぜひお越しいただき、子どもと大いに楽しんでください。



みちくさカフェは大人気。開田小応援団の皆さんは大忙しながらも、子どもたちとの交流を楽しんでいます。

お待ちかね、みちくさの時間が始まりました。子どもたちは、みちくさカフェでお茶を飲んだり木曾馬にえさをあげたり風船遊びをしたりと、思い思いの時間を過ごしていました。

この時間を楽しみにしていたのは、子どもたちだけではなく、みちくさカフェを開いてくださったり木曾馬を連れてきてくださったりした開田小応援団の皆さんも、開田小の元気な子どもたちとの触れ合いを心待ちにされていたそうです。みちくさの時間が、子どもたちと地域をつなぎ幸せを共有する時間になっています。



迫力ある尾の島の滝。開田高原の自然を満喫しました。

低学年遠足

5月17日（金）、低学年遠足がありました。尾の島の滝やバイエルンの森など、新緑の開田高原を散策しました。3年生が各班のリーダーとなり、「自然を感じながら歩く」「友だちとけんかをしない」など、自分たちで決めためあてを達成できるように気を配っていました。

〈3年生の日記より〉

きのうは、遠足に行きました。まず、おのしましぜん公園に行きました。水しぶきがすごかったです。とちゅうであめを食べました。

そして、バイエルンの森へ行きました。わらびを取りました。社会体育館でおべんとうを食べました。楽しかったです。



合同通学路点検

5月27日（月）、合同通学路点検及び対策会議が行われました。保護者の皆様からいただいた情報を基にして危険箇所を洗い出し、それぞれの立場から安全対策のあり方を検討しました。後日、別紙にて詳細をお知らせします。



民生児童委員との懇談会

5月29日(火)、民生児童委員の皆さんとの懇談がありました。

ある委員の方から、ご自身のお子さんが、「困ったり悩んだりしたときに、開田が『帰る場所』になっている。」というお話をしていただきました。開田高原そのものが

お子さんにとっての一番の理解者になっているのですね。そして、「子どもたちには、『開田に育ったから頑張れる』『開田だから力がついた』という思いをもってほしい。」という願いも語られました。地域の皆さんがふるさとに誇りをもち、ふるさとに育つ子どもたちを温かく見守ってくださっている様子が伝わってきました。

陸上・相撲大会への参加



5月6日(月)郡小学生陸上大会が行われました。他校の児童と競り合うことによって、自己のパフォーマンスを向上させることができました。開田小は、4年女子100mと女子4年以下走幅跳で優勝、混合リレー2位、男子4年以下走幅跳で3位という好成績を納めました。

5月12日(日)大桑相撲大会が行われました。5年男子の部では出場者全員が2勝で並んだため、順位決定戦が行われる大熱戦となりました。

開田小の先生方の実践発表

5月11日(土)郡教育会総集会が行われました。音楽同好会に所属するお二人の先生は、他の会員と共に「モルダウ」の合唱発表をしました。また、昨年度6年生を担任した先生は、「足下から見つめる学習」と題して、満蒙開拓の歴史学習に関する実践発表を行いました。

このように、先生方もご自分の専門分野に磨きをかけつつ、互いの実践に学び合い刺激を受けています。



【お知らせ】

◎スクールカウンセラー(山崎 直 先生)とお話しませんか？

→6月17日(月)の午後、スクールカウンセラーの山崎先生がお見えになります。スクールカウンセラーは、児童だけではなく保護者の相談事や悩み事も親身に聞いてくださいます。お時間を調整しますので、お気軽に学校(42-3221)にご連絡ください。

6月14日の音楽会に向けて、各教室から元気な歌声やきれいなハーモニイ、鍵盤ハーモニカ・リコーダーの音が聞こえてきます。校長室に来てくれる人たちの鼻歌も音楽会の曲ですね。今週の金曜日からは、音楽会の特別時間割も始まります。

今の4・5・6年生が低学年の頃は、コロナで思い切り歌が歌えませんでしたから、今、音楽の授業ができること、思い切り歌が歌えること、リコーダーや鍵盤ハーモニカができることが、なんてすてきなことだろうと感じています。

校長先生もみなさんのがんばりにつられて、ちょっとピアノの練習をしてみました。歌える人は、一緒に歌ってみてください。

知っている人がたくさんいますね。アンパンマンの生みの親 やなせたかしさんが歌詞を書いた『アンパンマンのマーチ』です。やなせさんは『アンパンマンのマーチ』の歌を通して、アンパンマンを観たり、この歌を歌ってくれたりする子どもたちにメッセージを伝えようとしています。

それは、やなせさんが若いころにあった戦争の経験から学んだことが大きく影響しています。苦しかった戦争。中でも一番苦しかったのは食べるものがないことでした。食べ物がなくて亡くなる人もたくさんいました。やなせさんは、こうした体験から、本当の正義とは戦争をして相手を負かすことではなく、困っている人に手を差し出すこと、飢えに苦しむ人に食べ物を差し出すことこそが、どこの国の人にとっても正しい行動だと考えるようになりました。

アンパンマンは弱いものを救うためにがんばります。おなかですいた人がいれば自分を食べてもらい、おいしいと言ってくれることを何よりも喜びます。やなせさんも、「みんなが喜んでくれることが何よりもうれしい」と思い、そうした自分の思いをアンパンマンによって伝えようとしているのです。

さて、アンパンマンマーチの歌詞をもう一度見てみましょう。

「何のために生まれて 何をして生きるのか 答えられないなんて そんなのは嫌だ」
みなさんは、自分は何のために生まれてきたと思いますか。

やなせさんは病気で亡くなる間際まで、人々を元気にするために歌を作り、アンパンマンの映画を作り続けました。世界中には大変なこともあるけれど、あきらめずに、自分の身のまわりの人が少しでも喜ぶようなことをすれば、これからの時代に希望があると信じて、メッセージを送り続けたのです。

『歌で伝えたいことがある。歌には伝える力がある。必ず伝わる。』と、校長先生も信じています。（昨年のお祭りの写真を提示）音楽会では、ただ歌うのではなく、歌を通してみなさんの明るさや元気さ、パワー、楽しさやうれしさ、感謝の気持ちを、体育館に来てくださった家族や地域の皆さん、他の学年の友だちに伝えてほしいと思います。

音楽の授業ができること、歌が歌えること、楽器が演奏できることに感謝し、みなさんの思いを伝える、みなさんの努力を伝える音楽会にしてください。

みなさんの思いも努力も、音楽となって必ず聞く人に元気・勇気・よろこび・感動を与えます。音楽会を楽しみにしています。

**保護者の皆様・ご家族の皆様・地域の皆様、お誘い合わせて、
子どもたちの輝く姿を観に来てください。**

6月14日金曜日は、開田小学校の音楽会です。

皆様お誘い合わせの上、ぜひ開田小学校へお出かけいただき、子どもたちから元気・パワー・感謝を受け取ってください。